

製品安全データシート

製造者情報 会社 サンハヤト株式会社
 住所 東京都板橋区志村 3-26-19
 担当部門 化学製品開発部
 電話番号 03-3965-6310 F A X 03-3965-6310
 作成日 1997年4月10日
 整理番号: SG043122 改定日 2004年11月15日 REV. 1.00

製品名(化学名、商品名等)

アルファループ MC-100

物質の特性

単一製品・混合物の区分: 単一エアゾール製品

化学名	アルファ-オレフィン	液化石油ガス
含有量 (wt%)	65	35(噴射剤)
官報公示整理番号	2-27	2-3,2-4
C A S N o .	68855-60-7	74-98-6,106-97-8
E I N E C S	2724948	2008279,2034487
輸出統計品目番号	-	2901.10-000
I M D G	-	-
国連分類	-	-
国連番号	-	1978, 1011
P R T R法	該当の有無	非該当
	種類と番号	-
労働安全衛生法	該当の有無	非該当
	種類と番号	-
		危険物:可燃性ガス

危険有害性の分類

分類の名称: <有効成分> 分類基準に該当しない
 <噴射剤> 高圧ガス
 危険性: <有効成分> 引火しやすい液体。気化した蒸気は空気よりも重く床面に滞留するので、密閉した室内で使用する場合は換気を十分行う。
 <噴射剤> 高圧の液化ガスで可燃性である。
 有害性: <有効成分> 吸入毒性は低く、通常の使用においては窒息、麻酔、肝臓障害などを起こすことはほとんどない。高濃度の蒸気を吸入すると麻酔薬として働き、繰り返してさらされた場合吐き気、感覚鈍麻、頭痛などを起こすおそれがある。
 <噴射剤> 情報はありません
 環境影響: 情報はありません

応急措置

目に入った場合: 清浄な水で最低 15 分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合: 汚染した衣服は速やかに脱ぐ。製品に触れた部分を多量の水または石鹼で洗い流す。
 吸引した場合: 患者を直ちに、新鮮な空気のある場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。

飲み込んだ場合： 多量の水または塩水を飲ませた後吐かせ、直ちに医師の手当を受け
る。ただし意識がない場合は、なにも与えてはいけない。

火災時の措置

消火方法： 火元への燃焼源を断ち、初期消火には粉末、炭酸ガス、アルコールなどを用いる。火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。周辺火災の場合には安全な場所へ移動させる。

消火剤： 粉末、炭酸ガス、アルコール

漏出時の措置

浸透性および揮発性があるので、漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用機材を準備する。少量の場合、土砂、おがくず、ウエスなどに吸収させるか、速やかに多量の水で洗い流す。多量の場合、土砂などで流れを止め安全な場所に導いて、密閉式の容器にできるだけ回収し、回収できない場所では多量の水で洗い流す。この場合河川等に濃厚な液が排出されないようにする。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い： 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。できるだけ吸入を防ぎ、目、粘膜、皮膚との接触はさける。必要に応じて適切な保護具を着用し風上から作業をする。室内での取扱いの場合は適切な換気を行い取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。容器の取扱いはていねいに行い、加温する場合は40℃以下を保つ。

保管： 保管場所は消防法上の貯蔵設備で行い、換気を十分にし蒸気が滞留しないようにする。また指定数量未満のものについても換気、温度、湿度、遮光に注意し、静電気の除去装置を講じた冷暗所に保管する。

暴露防止措置

管理濃度： 情報はありません

許容濃度： 日本産業衛生学会 500ppm 1,200mg / m³

ACGIH TLV 800ppm 1,900mg / m³ 注)ブタンの情報を記載

設備対策： 屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。

保護具： 必要に応じ、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

物理・化学的性質

外観等： 無色透明液体

沸点： 情報はありません

蒸気圧： 情報はありません

沸点： 420

比重： 0.810 ~ 0.820 (20℃)

溶解度： 有機溶媒に易溶 注)有効成分の情報を記載

危険性情報(安定性・反応性)

引火点： 223

発火点： 情報はありません

爆発限界 上限： 情報はありません 下限：情報はありません

可燃性： あり

発火性(自然発火性、水との反応性)：なし

酸化性： なし

自己反応性・爆発性： なし

粉塵爆発性： なし
 安定性・反応性： 安定 注)有効成分の情報を記載

有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性： 皮膚を侵すことは少ない。
 刺激性(皮膚、目)： 極めて少ない
 感 作 性： 極めて少ない
 急性毒性(mg/kg)： ホリアルファ-オレフィン 液化石油ガス
 人(経口)LDL₀ 情報はありません 情報はありません
 ラット(経口)LD₅₀ > 5,000 情報はありません
 亜急性毒性： ホリアルファ-オレフィン 液化石油ガス
 情報はありません 情報はありません
 慢性毒性： ホリアルファ-オレフィン 液化石油ガス
 情報はありません 情報はありません
 がん原性： 情報はありません
 変異原性： 情報はありません
 生殖毒性： 情報はありません
 催奇形性： 情報はありません

環境情報

分解性： 情報はありません
 蓄積性： 情報はありません
 魚毒性： <有効成分>LC₅₀ > 1,000mg/l(96時間虹鱒)
 その他： 情報はありません

廃棄上の注意

容器内の有効成分をすべて使いきり、火気のない屋外でガスを完全に抜いてから廃棄する。

輸送上の注意

取扱いおよび保管上の注意の項の記載による。

適用法令

消 防 法： 危険物第4類第四石油類
 P R T R 法： 非該当
 労働安全衛生法： <有効成分> 別表第1危険物 4.引火性の物
 <噴射剤> 別表第1危険物 5.可燃性のガス
 有機溶剤中毒予防規則： 非該当
 危険物船舶輸送
 および貯蔵規則： <有効成分> 引火性液体類
 <噴射剤> 危険物 高压ガス
 航 空 法： <噴射剤> 危険物 高压ガス
 輸 出 貿 易 管 理 令： 非該当

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は、通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

記載内容は情報提供であって、保障するものではありません。